

第4回定例会

・一般質問②

「PFI」
民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う公共事業を実施するための手法のこと。
プライベート・ファイナンス・インシアチブの略。

第4回定例会

・一般質問①

4名の議員が理事者の考えを質しました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

一般質問



小松正義 議員

農業振興政策での状況対策及び支援策について

【質問】
規制改革会議の農林部会で抜本的な改革が推進され、内容が譲歩されたとはいえ、再度の提案が懸念されます。現状を鑑みどのような支援を考えているのか伺います。

【答弁】(町長)
農協組織改革で組織の廃止案が検討されています。営農計画上の安定経営、生活資金確保に必要な指導金融という実態の中、廃止されると経営に支障を来すと心配ですが、行政としてどのように捉えているのか伺います。

【質問】
農協組織改革で組織の廃止案が検討されています。営農計画上の安定経営、生活資金確保に必要な指導金融という実態の中、廃止されると経営に支障を来すと心配ですが、行政としてどのように捉えているのか伺います。

【答弁】(町長)
生乳の97%は指定団体、北海道はホクレンで集められ乳業メーカーに販売されます。酪農家が自由に販売を選べるようになりましたが、牛乳は生産後すぐに乳業メーカーに引き取ってもらう必要があります。地元の森永乳業は毎

【質問】
生乳の流通改革、指定生乳生産者団体制度見直しについて、どのような判断をされているのか伺います。

【答弁】(町長)
生乳の97%は指定団体、北海道はホクレンで集められ乳業メーカーに販売されます。酪農家が自由に販売を選べるようになりましたが、牛乳は生産後すぐに乳業メーカーに引き取ってもらう必要があります。地元の森永乳業は毎

※組織(組合員制定制度)廃止案
町長：JA自身で組織改革を廃止案はなじむ改革ではない

108戸と減少し、その要因を後継者不足、労働力等の役割分担ができないこととしています。育成支援体制の構築については積極的に支援をしたいと考えています。



高橋紀久 議員

若年者(単身者)への住居環境の整備について

【質問】
町内には若年者・単身者等に適した住宅や集合住宅が少ないことから、若年者・単身者などへの住居対策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。

【答弁】(町長)
本町は公営住宅の単身者の入居を認めており、現在27戸入居可能で単身者の住宅事情に配慮されるものと判断しています。さらに町内の民間アパートにも空き部屋があり、公営住宅・民間アパートに積極的に入居し、町に定着を促していただきたいと思います。

【質問】
本町には個人住宅の新築など各種助成事業が創出されて

いるが、民間の集合住宅や社宅などは対象外であり、それらへの対策を伺います。

【答弁】(町長)
賃貸住宅を率先して整備することは本町への定住促進の障害となることも考えられます。また、社員の住宅を確保することは企業としての責務であり、企業努力により住宅を確保することがこれからの定住の対策になるものと考え、町としては公営住宅の整備に対応していく考えです。

【質問】
住宅建設促進事業は、新築は対象で中古住宅の購入は当てはまらないのですが、それらに対して適用する考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)
未利用の空地が数箇所存在しています。今後活用予定の

若年者・単身者の定住対策
住居、生活の処置等は
町長：公営住宅は単身者も入居可能
社員の住宅確保は企業の責務

【質問】
数年来利用されていない施設など、まだまだ利用価値のある各種施設の有効活用のために、民間の資金・経営・技術を活用したPFI事業の導入などの考えをお持ちなのか伺います。

【答弁】(町長)
老朽化が著しい施設においては、解体しなければならぬものと考えています。比較的新しい旧若里小については、有効な活用方針が見つからないのが現状であります。PFIの導入につきましても、どの事業も考えていないというのが現在の状況です。各施設の延命化を図り、整備をしています。これらの公共施設については町がしっかりと管理することが有効であると考えています。

町有地・町有建物の活用について

【質問】
町が有する空地・空家・空施設など、有効活用を図る意味から売却などの方策はあるのか伺います。

【答弁】(町長)
未利用の空地が数箇所存在しています。今後活用予定の

第4回定例会

・一般質問③



三田 真美 議員

暴風雪対策について

【質問】 オホーツク地域はここ数年暴風雪災害が増え、猛吹雪で命が危険にさらされることもあり。本町では町民の安心・安全を第一に、防災メー

【答弁】(町長) 防災・安心メールさろまは現在416名の登録があり、平成27年中は88回発信、警報20回、うち暴風雪・大雪警報が10回です。このメールを活用しつつ広報でも猛吹雪の時

【質問】 職員が町民への対応をするときに、自分自身の安全も確保する意味で暴風雪に対応したキットを準備する必要があらうと思いますが、どのように考えていますか。

【答弁】(総務課長) どうしても外出しなければならぬ場合に備えて、車内や庁舎内に対策キットを備え置き、貸出しをすることなども今後検討したいと思えます。

暴風雪対策

町民の命を守る対策は

町長：… 配布リュックは避難用 地域担当職員が安否確認する

ペット保護について

【質問】 ペット保護については動物愛護法により適正に行うよう定められています。犬猫は年間何件処分され、また保護されているのか、また保護された犬猫を譲り受けた人への情報提供について伺います。

【答弁】(町長) 27年度の野犬掃討は12頭で、28年度は5頭です。猫については飼い猫、野良猫の区別がつかないことから保護も処分も行っておりません。

【質問】 昨年保護された畜犬は捨て犬を含め3頭で、首輪をしている迷い犬は飼い主に引き取られていますが、捨て犬の多くは子犬のため、ロコミで飼い主に引き取られています。

保健所も新しい飼い主を探す事業を行っています。

宮崎県都農町との交流について

【質問】

現在都農町とは物産関係のイベントを通じ交流を行っていますが、子供たちの交流体験事業などで、北海道の良き、宮崎県の良きや地元の特長をいかした体験をすることによって、お互いの子供たちが将来を考える機会が持てるような事業を行っていく考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長) 平成25年9月の都農町道の駅のオープンを機に主に物産に関する交流が始まり、26年7月に経済交流に関する基本協定を締結しました。本町の子供たちの交流事業は、ヨロシ島ちびっこ探検学校、パーマ市との人的交流を行っています。以前港区三田商店街と青少年の人的交流を考えましたが、難しいことが多々あり実現していません。都農町とはまだ交流も始まったばかりですので今後の展開を見守っていただきたいと思います。

「学校図書館図書標準」 公立小中学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年に文部科学省が定めた。各校の学級数を算定根拠としている。



但木 早苗 議員

就学援助入学準備金支給の改善について

【質問】 就学援助金の支給月を入学前という思いで表題を入学準備金としましたが、このことを3月の予算審議の中で質問したとき、当時の教育長は「最終的には町の決め方だ」と思うが、3月支給の事例もあるということであれば検討する」と答弁しています。

【答弁】(教育長) 今、入学前支給の実現や検討を約束する自治体が全国に広がっています。せひ町としても実現に向けて取り組んでいただきたいと思います。

【答弁】(教育長) これまでは申請を4月の教育委員会決定し、5月支給としていましたが、この方法

就学援助入学準備金

支給を入学前にしては

教育長：保護者への3月支給を 試行的に行う

では入学前・進学前支給とまらない状況にあります。予算特別委員会での質問もあり検討を進めてきたところ、明年4月に新たに入学する児童や中学校に進学する生徒の保護者に対し、年度内の明年3月頃の支給を試行的に行いたいと考えています。

学校図書費について

【質問】 *学校図書館図書標準達成

【答弁】(教育長) 学校図書標準達成については、北海道は公立小学校にあっては最下位、中学校にあっては40位という報道がありました。本町は、小学

校の達成状況が50〜75%未満が2校、75〜100%未満が1校、中学校は50〜75%未満となっています。交付税に算入されている学校図書費を、学校図書に充実に活用し、達成率100%目指して取り組んでいただきたいと思います。

【答弁】(教育長) 本町は小中学校とも達成状況が全国を下回っています。移動図書館車が巡回しており、この巡回文庫の貸出数を加算すると小学校では標準冊数以上、中学校でも80%以上となり、今後も学校と図書館が連携していく体制を継続していきたいと考えています。

【質問】 *学校図書館図書標準達成

【答弁】(教育長) 学校図書標準達成については、北海道は公立小学校にあっては最下位、中学校にあっては40位という報道

どさんこ・子育て 特典制度について

【質問】

この制度は、妊娠中の方もしくは小学生以下の子供がいる世帯に特典カードを交付し、買い物や施設を利用する際にこの特典カードを提示することで協賛店舗や施設からさまざまなサービスを受けられるという子育て世帯を応援する制度です。町の取り組みについて伺います。

【答弁】(町長) 町内には協賛店はありませんが、今年4月から特典カードを配布しています。

本町は各種子ども・子育て支援対策を独自制度として実施していますが、本制度についてもカードの交付、内容周知など今後も積極的に進めていきたいと考えています。



どさんこ・子育て 特典カード